

墜落・転落災害に注意！

災害発生件数が多く、重篤災害に至るケース多数！

墜落・転落災害は、北海道の死亡災害の中で、最も多い事故の型です。重篤な災害に至るケースも多く、その防止対策の徹底が望まれます。

このような箇所で作業を行う場合は・・・

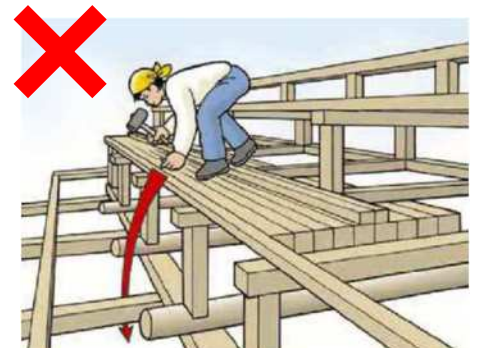
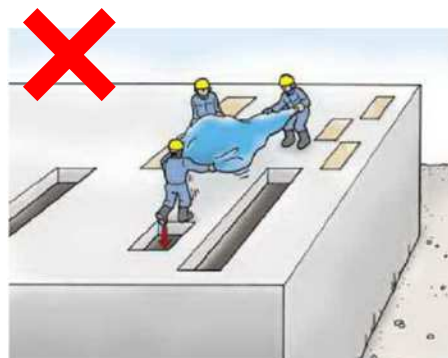
徹底して下さい！

高さが2メートル以上の作業床の端、開口部など、墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのある箇所

囲い、手すり、覆い
(以下「囲い等」)
の設置

墜落の危険を防止

墜落制止用器具（安全帯）の使用や保護帽（墜落時保護用）の着用もお忘れなく！



図：「職場のあんぜんサイト」より

墜落災害を防止するためには、まずは囲い等の設置！

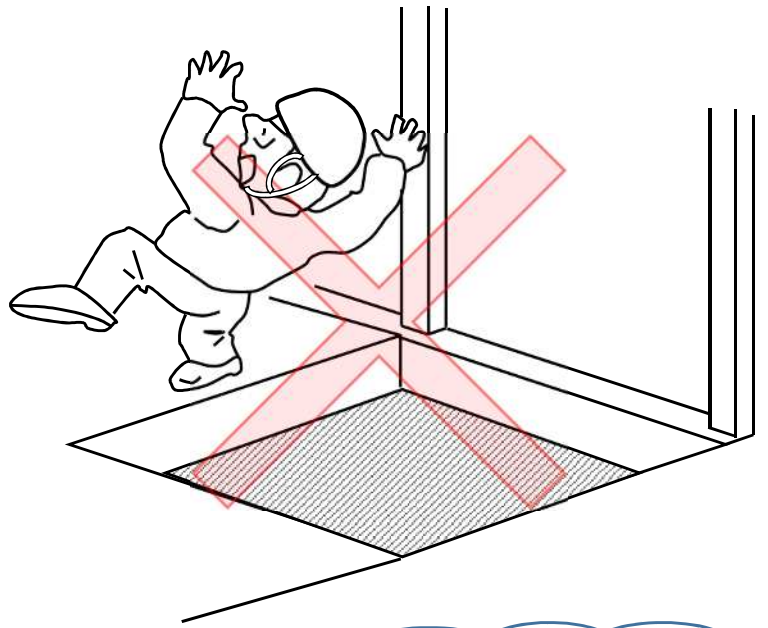
名寄労働基準監督署

【関連条文】労働安全衛生規則

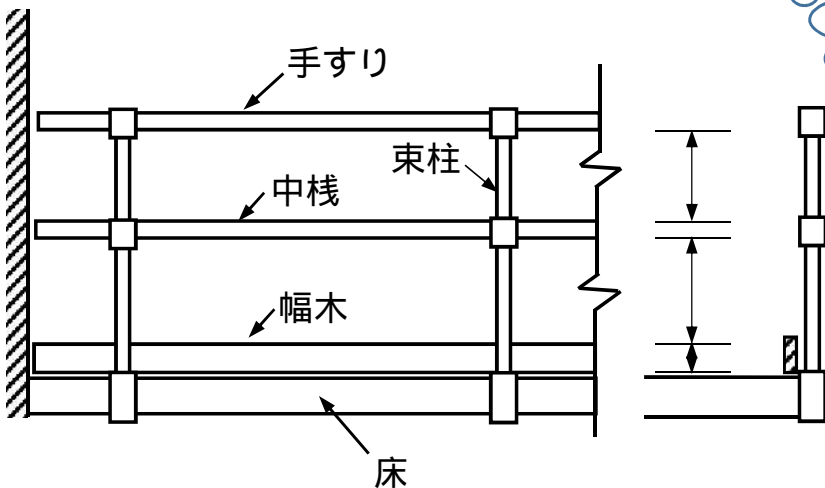
第519条 事業者は、高さが二メートル以上の作業床の端、開口部等で墜落により労働者に危険を及ぼすおそれのある箇所には、**囲い、手すり、覆い等**(以下この条において「**囲い等**」という。)を**設けなければならない**。

2 事業者は、前項の規定により、**囲い等**を設けることが著しく困難なとき又は作業の必要上臨時に**囲い等**を取りはずすときは、**防網を張り、労働者に要求性能墜落制止用器具を使用させる等墜落による労働者の危険を防止するための措置を講じなければならない**。

墜落の危険がある**囲い等**のない場所で、**墜落制止用器具等**も**使用しないで**行う作業は**違法**です



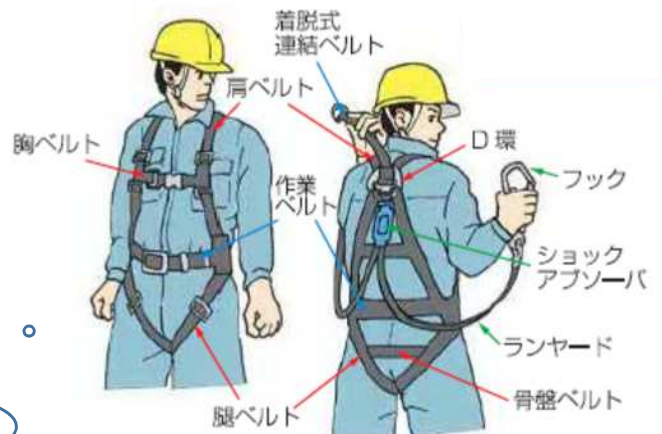
【安衛則519条第1項による措置】



手すりと中棧による墜落防止措置の例

まずは、**囲い等の設置を!**

【安衛則519条第2項による措置】



フルハーネス型墜落制止用器具

囲い等の設置が困難な場合